

ニュースリリース

2015年 4月14日  
新日鉄住金エンジニアリング株式会社

## 「シュタインミュラー式ストーカ焼却技術」の技術検証・確認の完了について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長 高橋 誠、本社：東京都品川区）環境ソリューション事業部（事業部長 山田 良介）（以下、「当社」）は、公益社団法人全国都市清掃会議（以下、「全都清」）へ申請していた「シュタインミュラー式ストーカ焼却技術」（以下、「本申請技術」）の技術検証・確認を2015年3月31日に完了したことをお知らせ致します。

本申請技術は、当社が昨年5月に買収した欧州廃棄物発電プラントのメインプレイヤーである Steinmüller Babcock Environment 社 (SBE 社) が既に海外において 500 基以上納入し、世界最高水準の発電効率を誇るストーカ炉式ごみ焼却技術をベースとしたものであり、今般全都清による技術検証・確認の結果、十分な信頼性を有し、国内においても適合可能であることが証明されました。

当社は、今般の本申請技術に係る技術検証・確認を受けたことにより、従来のシャフト炉式ガス化溶融炉技術のみならず、ストーカ炉式ごみ焼却技術においても、既に展開を開始している海外市場に加え、国内向けにも営業活動を展開し、廃棄物処理の多様な顧客ニーズに応えて参ります。

### 【今回の技術検証・確認の内容】

- ① 本基幹技術は、日本のごみ焼却処理において国内のストーカ式焼却技術と同等に適用可能。
- ② 日本のごみ発熱量とほぼ同等のごみを処理する海外実用施設において安定運転を達成できている。
- ③ 周辺技術を含めた全体のシステムとしても廃棄物の処理及び清掃に関する法律などの国内の要求事項に適合するものと判断。



【授与式にて、下段右端から、山田事業部長、田中委員長、佐々木全都清専務理事】

【お問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

以上